

MISAKO & ROSEN

170-0004 東京都豊島区北大塚 3-27-6 Kita-otsuka, 3-27-6, Toshima-ku, Tokyo, 170-0004, Japan

Tel : 03-6276-1452 Fax : 03-6276-1453

Mail : gallery@misakoandrosen.com <http://www.misakoandrosen.com/>

12f 番目のホビー

炭素の戒律に改変された宗教の性魔術 k の自由

(日々消されていく)
スティーブン・G・ローズ、2015...

戒律。改定によって延長させられ、次いで免除され、今では過剰なホビーであり、今では炭素の戒律...
今ではまさに自由の陰謀。

すべての形態は盗まれたエロスの毛布から振動する。

クリエイティヴ・サプライ・チェーン／創造的な供給品の鎖は、あらゆる場所にその圧政を広げる。み
ずからの使いものにならないイメージ、(消費された) 君主としてのイメージを再生産しながら、物質の
指令を引き伸ばす。

あらゆる再生産／生産は不能である。自然に属さないインキュバスから生じる終わりのない分泌。
手作業の浪費は、セックスの二酸化炭素排出量は、逆向きに進む自由の農地に肥料を与える。

創造的狂乱1

輪郭を失い、すべての値段を逆向きに読むこと。この戒律は直腸なのか？

商品の不倫、手作業の乱交。2

1 **創造的狂乱運動**：自由企業を抱きとめる非協力的な哲学の、互いに入れ代わり、互いへと崩壊する
不

正な回路。サタニック・テンプル、ホビー・ロビー、**同性婚**、医療費負担適正化法、オクラホマ州裁判
所、**性と生殖に関する権利**、**自発的人類絶滅運動**、そして**召使**たち、**創造的狂乱**の経営者たちと犠
牲者たち*。

(「召使」および「創造的狂乱」：ホビー・ロビーの創始者が提唱した用語で、彼らの従業員のこと
を、そして買い物客に授けようと彼らが欲している効果を、それぞれ定義する)

自由の権利と自由の区別との間における意志の不条理な不通。11 番目のホビーは、ホビー・ロビーが
行動で示したところの興味深い意志を追随した。ホビー・ロビーは、従業員、とりわけ女性の身体が、
オバマが新たに設けた医療費負担適正化法にアクセスするのを抑えつけようとした。避妊を提供する
ことで彼らの宗教的な規範を侵犯するプログラムを忌避することによって。

増幅されたその暗黙の示唆をもとに私たちは何を想像するだろうか。ホビー・ロビーによる異議は、本
当に、野性的なセックスの卑猥な実践や宗教的自由の名における生殖を示すのか。この論理を延長した
とき私たちが想像するのは、制限のないセックスであり、制度化された犠牲の実施をやがて必要とす
る、オカルト的な出産である。資源はセックスの浪費から守られるべきだ。**創造的狂乱**、顧客に教え込
むそしてあるいは吹き込む、贅沢を拒否する精神。記録によればホビー・ロビーの CEO は同社のター
ゲットは**女性**であると語っている

2 合衆国最高裁判所において姿を現し、最高度の露出に身を晒すことで、小売店の家族経営という儀式
が持つ神聖さの管理を犠牲にするホビー・ロビーの詩学。彼らは宗教的自由においてセックスの抑圧を
主張するが、向こう側を見透かせば、それは単に、変態的なセックスの実践に公然と熱中しているよう
にしか思えないかもしれない。結局のところそれは、創造的狂乱、せん妄状態における消費活動、倉庫
に並んだ犠牲、知られざる子作りの方法など、黒いアーツに捧げられた店なのだ。

アレクスター・クロウリーが黒魔術 k 支店をデザインする。3

ホビー、無駄な取引、誰彼かまわない労働。

ロビー、あなたが糾弾しているらしい幻想、まさにそれが提示される推察の空間。

11 番目のホビーが**高慢**と**情欲**という致命的な罪を呼び起こした場所で、12f 番目は羨望と強欲を飲んで迎えた。

もしも 11 番目が不気味な免除をめぐるものだとしたら、12 番目は不気味な自由をめぐるものだ。

「セックスが自由になると、**悪魔**はすべてを**情欲**へと変えるだろう。そうなるともはや超時間への開口部もなくなってしまう。この開口部は抑制によってもたらされるのだから。時間の他には何も残されない。**悪魔**の完全勝利である。そしてこの勝利は自由のおかげで達成されたのだ。現象的世界の内部における自由は絶対的な隷属である…。地球上の楽園は**地獄**である。教会は同じ状況を別の言葉で描写する。自由は「**peccare posse** (罪を犯し得ること)」の中に住まう。自由な愛の楽園においては、情欲を通じて、潜在する罪が完全に現実となる。」ヴィレム・フルッサー

羨望と強欲のトライアングル。

左は右の権利を欲しがらる。右は左に彼らが自分はそのようではないと思っているところの倒錯的な異常者について考えるように強いる。自由とされるものを求める権力闘争の推移において空白が生まれ、第三者はそれに付け込む。オカルト的な裏活動が常套手段である。

ホビー・ロビーの商品が持つ間違っただけのこだわりによって、すべてが束ねられている。私たちの居住権を装飾するもの。

積み重ねとしての**結婚**。積み重ねは浪費の権利および離婚の主導権へと繋がる。**離婚**の権利の積み重ねに到達するために**結婚**の権利にアクセスする。

ママ、パパ、ごめんなさい、**悪魔**にやられた。**創造的狂乱**に圧倒される。他でもない私の馬鹿げた手作業の実践を免除するものとして考えること。

3 免責条項：教会の尻の州。ホビー・ロビーによる統治の展開およびその事業の拡大を探っていくと、もうひとつの陰謀が同時に明らかとなった。舞台はホビー・ロビーの本部があるのと同じ法域、オクラホマ・シティである。この地において、悪魔教会が、敵対するグループが見出した抜け穴に付け込もうと企てた。このグループは、連邦裁判所の聖なる非宗教的な土地に十戒のモニュメントを建てることに成功していたのだ。もしも同州が、宗教の自由に基づいて、あるグループに彼らの崇拝対象を誇示するための場所を与えたのだとすれば、悪魔教会が同じ権利を与えられ、子どもに健全な知恵と愛を授けるパフォーマットの彫像を建ててはいけない理由はない。

この申請は、訴えの果てしない遅延においてファイリングされ葬られてしまったが、ホビー・ロビーは、もしかしたら悪魔教会の自己顕示権に触発されてだろうか、事案を合衆国最高裁判所まで通すことに成功している。

自然に属さない動物たちの犠牲、生態学的な腐敗、絶滅…。避妊の拒絶は創造的狂乱の人形を犠牲にすることで昇華される。**自発的人類絶滅**。

自由の緊縛。影響についてのエディプス・コンプレックス的な告発。

ならば、ホビー・ロビーの品物という別種のポルノを使ってポルノ的なコラージュを混ぜあわせるとき、本能的な破戒にアプローチすることは本当に可能なのだろうか。あるいはそのような努力は物質的な消費のうちに閉じ込められるのだろうか。創造的な**販売品**、**創造的狂乱**の物質的な独裁を乗り越えることは果たして可能なのか？ 予定調和な創造的インスピレーションの独裁。赤ん坊たちは前-知識なのだろうか。赤ん坊たちは前-促進的なのだろうか。**創造的狂乱**において自由は可能なのか？ 私たちはどこから来たのか？

パンのミュージック。パンドラのミュージック。4

愛についての大量販売的な告発と**離婚**する権利。自由の重荷。

4 免責条項：ホビー・ロビーは騒乱が詰まったパンドラの箱を開けた。それは近年、アメリカ中西部の

い
くつかの裁判所で猛威を振るった。最近では、ジンダル氏が州知事を務めるルイジアナ州が、楽しげにこのゴタゴタの門をくぐった。信教の自由をめぐる法律が政府内部に大きな苦悶をもたらしたインディアナ州やアーカンソー州とは違って、ジンダルは誇りを持ってみずからの州の失調を意に介さない。むしろ彼はそれを、非宗教的な法制に対抗する自身の立ち位置を明確にする機会として見ている (FOX テレビが製作したキリストの一生のドラマにおけるオバマ・サタンを見よ)。アメリカにおける同性婚の権利についての最近の進展は、不条理なことには言わないまでも、予想されたとおりに、結婚防衛法とぶつかり、信教の自由法を昇華することができていない。興味深いことに、信教の自由の可能性には定義や限界が存在していない。宗派ごとの武装団、延々と続くドラッグの高揚感、あるいは赤ちゃんを食べる？ アレイスター・クロウリーはすでに、性魔術kにおける自由の食い違いのために、可能性のある条項を書き起こしている。今回のデモンストレーションはこのテキストに書かれているプロトコルに従いつつ、主語をホビー・ロビーの販売品に置き換えている。その際、とりわけ、人形制作、差し迫る絶滅によって余儀なくされた奇妙な子作り用サプライや自然に属さない動物たちに力点を置いている。_